

ペット質問箱

災害時、一緒に避難するためには？

マイクロチップ装着が安心

問 地震や大雨など災害時にペットと避難できるか心配です。日頃からすべきことはありますか。

答 能登半島地震のような大地震のほか、昨今の強烈な風水害、火災などにより、自宅での生活が困難になった場合、ペットを連れて避難所に避難できます。犬は飼い主と行動を共にする可能性が高いのですが、猫は自ら身を隠して災害から逃れようと行動することが多く、過去の震災でも行方不明になったケースが多くみられまし

た。対策としては、平時から移動ケースに入れる練習をしておくといいと思います。居住する自治体に避難所の位置やペットの受け入れ対応を確認するのも大事です。ただ、地震などの場合には気が付くと姿がなく、捜しても見つからない、といったことが起こりえます。はぐれたペットを捜し、自分のペットだと証明する手段として、マイクロチップの活用を勧めます。

マイクロチップは、直径2^{ミリ}、長さ8～12^{ミリ}程度

の円筒形の電子標識器具で、専用の挿入機で犬や猫などの背側頸部皮下に埋め込むのが一般的です。マイクロチップには世界で唯一の番号が記録されていて、リーダーで読み取ることで個体を識別できます。使用すれば、飼い主と離れ離れになっても戻ってくる可能性が高くなります。

2022年6月1日から、環境省はペットショップなどで販売される犬や猫について、マイクロチッ

プの装着を義務化しました。しかし、譲渡されたりそれ以前に生まれたりしたペットには十分に装着が浸透していません。

全国では16市町村が補助金を出して装着を奨励しています。県内でもそのような市町が一つでも出てきてほしいものです。

(早馬 正人・県獣医師会員)

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikat_suhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

